

令和5年度事業計画

社会福祉法人琥珀会

特別養護老人ホームこはく苑

【ユニット型・地域密着型】

【空床型短期入所生活介護】

デイサービスセンターきんぎょ

【認知症対応型通所介護】

【介護予防認知症対応型通所介護】

デイサービスセンターわが家

デイサービスセンターおらホーム

デイサービスセンターなごみ

【地域密着型通所介護】

【第1号通所事業】

久慈市交流促進センター

(山根温泉べっぴんの湯)

【指定管理】

法人基本理念

1 思いやりのところ

- ・ 地域に根差し公平・公正且つ安定したサービスを通じ、社会貢献に努めます。

2 健全な経営

- ・ 開かれた施設として、安全で安心してご利用いただける運営に努めます。

3 職員の幸せ

- ・ 私たちは、琥珀会の発展を通じて、職員の幸せを築きます。

社会福祉法人琥珀会【倫理綱領】

社会福祉法人琥珀会は、サービスを提供するにあたっての基本的な心構えとして、次のとおり倫理綱領を定め、私たちの規範とします。

〔1〕 個人の尊厳

私たちは、利用者一人ひとりをかけがえのない存在として認め、その人らしい人生を大切にします。

〔2〕 人権の擁護

私たちは、利用者一人ひとりの人間としての基本的な権利を守り、いかなる差別、虐待、人権侵害も許さないことを誓います。

〔3〕 個性、主体性の尊重

私たちは、利用者一人ひとりの個性や主体性を尊重し、利用者本位の自己決定を基本とした支援と、利用者の最善の利益を図ることに心がけます。

〔4〕 社会参加の促進

私たちは、利用者一人ひとりが、社会の一員として市民生活が送れるよう支援します。

〔5〕 生活環境の整備

私たちは、利用者一人ひとりが、生活者として快適な日々を過ごせるよう最もふさわしい生活の場として、施設及び周辺環境整備に努めます。

〔6〕 豊かな地域生活へ

私たちは、地域で生活する高齢者が、豊かな市民生活を送れるよう一人ひとりのニーズに添った支援と、地域において利用者が健康で安全な生活に必要な基本的な習慣や態度を養うことができるよう支援に心がけます。

〔7〕 職員として

私たちは、福祉施設職員としての専門的役割と使命を自覚し、利用者一人ひとりに適切な支援が提供できるよう常に自らへの問いかけを怠らず、研鑽と人間的成長に努めます。

令和5年度社会福祉法人琥珀会事業計画

I 基本方針

琥珀会は法人の基本理念に基づき、入居者・利用者はもとより地域の方々一人ひとりの生き方が尊重される日常生活を支援し、安心かつ満足して暮らしていただくことの出来る地域拠点としての施設運営を目指します。本年度は新たに指定管理を受けた久慈市交流促進センター「山根温泉べっぴんの湯」の経営安定化と、その地域の方々との交流に基づいた行事等を開催し、地域貢献・発展に繋がりたいと思います。

そして、コロナ5類移行を見据え、感染症対策を徹底しながら中止せざるを得なかった行事等について準備を進めたいと思います。

II 実施事業

- ① 第一種社会福祉事業
 - ・ 特別養護老人ホームの経営
 - 特別養護老人ホームこはく苑
- ② 第二種社会福祉事業
 - ・ 老人デイサービス事業の経営
 - デイサービスセンターわが家
 - デイサービスセンターきんぎょ
 - デイサービスセンターおらホーム
 - デイサービスセンターなごみ
 - ・ 短期入所事業の経営
 - 空床利用特別養護老人ホームこはく苑
- ③ 公益事業
 - ・ 居宅介護支援事業所ふくじゅ草
- ④ 収益事業
 - ・ 久慈市交流促進センター

Ⅲ 重点目標

- (1) リーダー職員の養成
- (2) 地域における公益的な取組の推進
- (3) 新規事業の安定化

Ⅳ 運営目標

○法人本部

◎2 拠点地域との交流の促進する催事等の企画運営。

○こはく苑拠点

1 こはく苑

(1) うさぎユニット

① R4 反省

○爪切り、散髪、汚れた衣服など交換することができていたので継続していく。また入居者に合わせたケアも継続する。

② R5 目標

○職員間の「報告・連絡・相談」を徹底する。わからない、聞いていないをなくしていきたい。

(2) かめユニット

① R4 反省

○口腔ケアの徹底

・取り組むことができていない入居者様もいたが、ほとんどの方の口腔ケアができていた。

・個々にあった口腔ケア方法や促す事ができていない入居者様に促す方法の検討をしていく。

○水分補給をしっかりとる

・ほぼ取り組むことができた。

・水分摂取に拒否のある方の対応を検討する必要がある。

② R5 目標

○細かいことまで情報共有する

・入居者様との関りを増やし、気づいた事やアセスメントした事を職員で共有し対応していく。対応後の情報も共有し統一したケアに繋げる。

- ③ 水分補給する。
 - ・脱水症・尿路感染症防止・便秘解消のため、1日1,000～1,500mlを目標に接種できるように努める。

(3) ひよこユニット

① R4 反省

○入居者様の意向に沿ったケアを職員が統一して行う。

・ケアの変更時、申し送りが職員全員にできず出だしが遅れることがあったが、おおむね出来た。

・ユニット会議が毎月開催できず、ケアについて職員揃って話し合いが出来なかったが、日々の業務の中でコミュニケーションをとりながらケアを行っていた。

② R5 目標

○入居者様の意向に沿ったケアを職員が統一して行う。

・各入居者様の担当者がケアについて振り返りをして変更したことがあれば、ユニット会議で議題としてあげてもらう。

・毎月ユニット会議の開催

(4) 栄養課

① R4 反省

・研修等を通して栄養士は知識を深めることができたが、調理員への共有が足りなかった。

② R5 目標

・嗜好調査や聴き取り等により、利用者様の希望に合うように工夫する

・献立の幅を拡げる。

・よりよい食環境を提供できるよう日常的な情報交換、共有の徹底を行う。

(5) 介護支援専門員

① R4 反省

○部屋から出てこない入居者様の顔を1日に1回は見て名前を呼ぶ

- ・毎朝各ユニットを回るように心がけたが、出きる日とできない日があった。

○月に一度ケアマネ会議、ケアプランについての会議を開催する

・毎月決まった日に会議として開催することは出来なかったが、

都度相談、話し合いは出来た。

- モニタリング会議に家族または本人に出席していただく
 - ・コロナのため参加自体は出来なかったが、電話で連絡・相談し情報共有は出来た。
- 月に1度相談員・ユニット職員と連携を取り、家族様に写真入りのお便りを送る
 - ・毎月行う事ができている。

② R5 目標

- 部屋から出てこない入居者様の顔を1日に1回は見て名前を呼ぶ
- 回数に制限なく、必要時にケアマネ会議、ケアプランについての会議を開催する
- モニタリング会議に家族または本人に出席していただく
- 月に1度相談員・ユニット職員と連携を取り、家族様に写真入りのお便りを送る

2 わが家

① R4 反省

- 報告・連絡・相談を徹底する
 - ・報告・連絡・相談の徹底は守られなかった。
 - i すべき内容が把握できていない。
 - ii 職員の仕事に対する認識が足りない部分がある。
- 日々の業務での改善点をお互いに指摘しあい改善していく
 - ・お互いに指摘することはあまり無く、そのため改善はほとんど見られなかった。
 - i 人間関係悪化が心配で、お互い指摘できなかった。
 - ii 業務の改善点について特に考えることがなかった・
 - iii 経験の少ない職員が多く、どこをどの様に改善すれば良いのかわからなかった。

② R5 目標

- 利用者様が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、利用者様のQOLの向上を目指す。
- 職員の介護力の向上を図る。
- 多職種との連携を図る。

③ 実施計画

- 1-1 必要な支援や生活機能を向上させるためのサービスを適切に選択し、介護支援計画に反映させる。適宜見直す。

- 1-2 ひきこもりによる孤立感の解消や心身機能の維持などのため、利用者同士の交流やグループ活動などレクリエーションや諸活動の充実を図る。
- 2-1 ケアプランや介護計画の把握を徹底する。
- 2-2 モニタリングの話し合い、確認をする
- 2-3 個別ケア会議を行う。
- 2-4 介護やデイサービスの在り方についての研修を行う。
- 3-1 看護師や居宅ケアマネとの連絡を密にとり、適切なケアを行う。

3 きんぎょ

① R4 反省

- 稼働率 60%を目標としたが達成できなかった。予定では 60%でも、入院や入所が続いた。その後、新規利用者様を受け入れるため営業を継続している。
- 利用者様のアセスメントは行ったが、認知症の進行に伴い、本人様の意向をくみ取ることが困難だった。ご家族様とは良好な関係性を築くことが出来ている為、継続していく。

② R5 目標

- 稼働率 60%を目指す
- 利用者様の安全と安心を最優先とする

③ 実施計画

- 1-1 継続して情報の発信、介護支援専門員との情報共有と関係性づくりに努める
- 1-2 時短利用やご家族様の要望に可能な限り対応できるよう「どうしたらできるか」を職員間で検討する。
- 1-3 料理療法、化粧やマッサージ等、他事業所にはない特色を出す。チラシのゴミ箱配布や雑巾の寄付等、社会との繋がりも継続していく。
- 2-1 認知症の進行により危険な行動が増えてきている（異食行為や帰りたいと繰り返し何度も玄関まで行く等）利用者様が、落ち着いて過ごせるように関りを多くする事。安全な環境づくり、事故防止に努める。ヒヤリ、アクシデントが出た際は、職員会議で話し合い、再発防止に努める。

4 おらホーム

① R4 反省

- 利用者減少。新規利用者増えるよう問題解決に努める。

○職員同士での報連相を徹底していく。

② R5 目標

○基本理念に近づけるように努力し、知識を深めていく。

○レクリエーション充実により利用者様家族との行事を楽しみ季節を感じ一年間活動できるよう努力していく。

9 なごみ

① R4 反省

○一人一人が責任をもって仕事をする。介護員としての自覚を持ち、利用者様を安全に支援する。

・声掛けが足りなかったが、ミーティングで注意している為ヒヤリ・ハットにはならなかった。

② R5 目標

○支持される前に自分から進んで行動に移す。

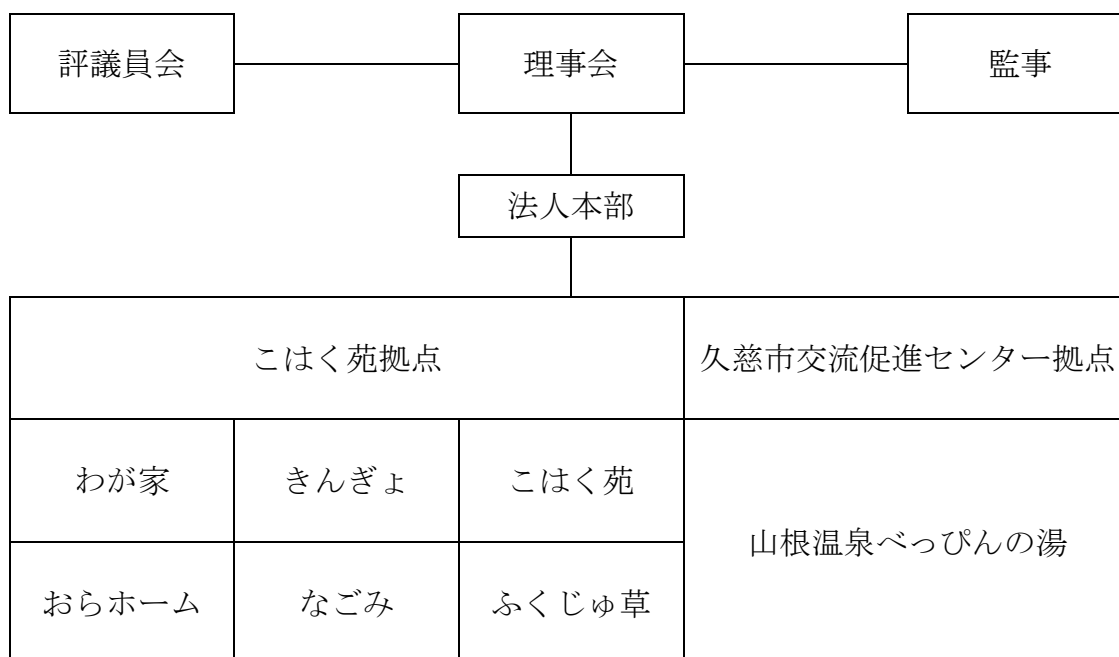
○何回も同じことを注意されないようにする。

V 社会福祉法人琥珀会概要

1 法人役員及び評議員の構成（令和4年3月1日現在）

役職名	氏名	職業	役員要件	任期
理事長	田代文雄	会社役員	学識経験者 (社会福祉事業経験者)	R5年度定時評議員会の終 結の時まで
理 事	八重櫻友夫	市議会議員	学識経験者 (社会福祉事業経験者)	同上
理 事	宇部一男	会社役員	地域の福祉関係者 (〈特非〉役員等)	同上
理 事	萩生田正昭	会社役員	地域の福祉関係者 (〈特非〉役員等)	同上
理 事	田代誠	法人職員	拠点施設長	同上
理 事	石川直江	法人職員	事業所管理者	同上
監 事	高山道好	無 職	学識経験者 (社会福祉関係の行政従 事経験者)	同上
監 事	大家武夫	団体役員	地域の福祉関係者 (〈社福〉役員等)	同上
評議員	水上虎雄	自 営	—	R7年度定時評議員会の終 結の時まで
評議員	関上由美子	会社役員	—	同上
評議員	岩城元	県議会議員	—	同上
評議員	萩生田さと子	自 営	—	同上
評議員	佐藤勝也	会社役員	—	同上
評議員	千葉和博	会社役員	—	同上
評議員	米澤豊	自営	—	同上

2 法人組織図



3 法人理事会及び評議員会開催計画

予定会議名	予定議案	予定開催月
令和5年度第1回理事会	令和4年度決算 令和4年度事業報告	令和5年5月
令和5年度定時評議員会	令和4年度決算承認	令和5年6月
令和5年度第2回理事会	令和5年度補正予算 (第1次)	令和5年9月下旬
令和5年度第3回理事会	未定	令和5年12月上旬
令和5年度第4回理事会	令和5年度補正予算 (第2次) 令和6年度事業計画 令和6年度予算	令和6年3月下旬

VI 施設の概要

特別養護老人ホームこはく苑・こはく苑ショートステイの概要

所在地 岩手県久慈市小久慈町第19地割118番地1

☎0194-53-3600 Fax0194-53-3614

定員 29名（うち8床が空床利用型短期入所生活介護）

ユニット数 3ユニット

1ユニット10名

2ユニット10名

3ユニット9名 合計29名定員

職員配置状況

職	人員	職	人員
苑長（管理者）（兼）	1	看護職員	3
		機能訓練指導員（兼）	1
事務員	2	栄養士	1
生活相談員（兼）	3	調理師	2
介護支援専門員	3	調理員	1
ユニットリーダー（兼）	3	嘱託医（内科1・歯科1）	2
介護職員	16	日・宿直	4

令和5年3月1日現員 38名

デイサービスセンターわが家の概要（特養併設）

所在地 岩手県久慈市小久慈町第19地割103番地3

事業 地域密着型通所介護/第1号通所事業

定員 10名

職員配置状況

職	人員	職	人員
施設長（管理者）（兼）	1	看護職員（併設兼務）	1
		機能訓練指導員（兼）	1
事務員	1	調理師	0
生活相談員（兼）	2	運転士	1
介護職員（兼）	3		

令和5年3月1日現員 6名

デイサービスセンターきんぎょの概要

所在地 岩手県久慈市小久慈町第 18 地割 4 番地 11

☎0194-53-3600 Fax0194-53-3614

事業 地域密着型（介護予防）認知症対応型通所介護
定員 12 名

職員配置状況

職	人員	職	人員
事業所長（管理者）（兼）	1	看護職員	1
生活相談員（兼）	2	機能訓練指導員（兼）	1
		調理師	1
介護職員（兼）	4	運転士（兼）	1

令和 5 年 3 月 1 日現員 6 名

デイサービスセンターおらホームの概要

所在地 岩手県久慈市小久慈町第 18 地割 3 番地 2

☎0194-52-2600 (Fax 兼)

事業 地域密着型通所介護/第 1 号通所事業
定員 10 名

職員配置状況

職	人員	職	人員
事業所長（管理者）（兼）	1	看護職員	1
生活相談員（兼）	2	機能訓練指導員（兼）	1
介護職員（兼）	5	運転士（兼）	2

令和 2 年 3 月 1 日現員 7 名

デイサービスセンターなごみの概要

所在地 岩手県久慈市長内町第 21 地割 2 番地

☎0194-53-5225 (Fax 兼)

事業 地域密着型（介護予防）認知症対応型通所介護
定員 10 名

職員配置状況

職	人員	職	人員
事業所長（管理者）（兼）	1	看護職員（兼）	1
生活相談員（兼）	2	機能訓練指導員（兼）	1
		調理員	3
介護職員（兼）	5	運転士	1

令和 5 年 3 月 1 日現員 10 名

久慈市交流促進センターの概要

(山根温泉べっぴんの湯)

所在地 岩手県久慈市山根町下戸鎖第4地割5-1

事業 指定管理

設備状況 宿泊9室 大浴場2 露天風呂2 小浴場2

伝習棟 産直コーナー

VII 年間行事計画

月	行事	月	行事
4月	花見(デイ)・救命講習	10月	避難訓練
5月	避難訓練	11月	歯科検診・予防接種
6月	買い物レク(デイ)	12月	クリスマス会
7月	共催夏祭り・健康診断	1月	小正月
8月	七夕(デイ)	2月	節分・特定検診
9月	敬老会・秋祭り見学(デイ)	3月	ひな祭り

※各ユニットでも行事開催

VIII 年間研修計画

共生サービス研修	×2名
認知症研修	全職員
医療的ケア(喀痰、胃瘻等)	×2名
身体拘束研修	全職員
虐待防止研修	全職員
災害研修	全職員

※令和5年度は、最新ケアへの統一を軸に研修を進める。